



# 2017年3月期 決算説明資料

株式会社ヤマノホールディングス

(JASDAQ 7571)

The New momentum

---

# 2017年3月期 決算概要



# 2017年3月期 連結業績ハイライト

業績は2期連続 増収(10.7%増)・増益(37.5%増)を達成  
和装宝飾事業は、売上高・営業利益とも過去最高を更新。

## 業績ハイライト

売上高	26,328百万円	前期比	10.7%増	↑
営業利益	363百万円	前期比	37.5%増	↑
経常利益	349百万円	前期比	41.1%増	↑
親会社株主に帰属する 当期純利益	188百万円	前期比	207.3%増	↑

## 年度トピックス

- ・前期にM&Aした2社(株)すずのき、(株)吉利)が連結業績に大きく貢献
- ・卸売事業において、横ニットの専業企画卸のイエリデザインプロダクツから事業譲受(2016/8)
- ・和装宝飾事業はM&A効果に加え、既存店舗も好調を維持し、売上高・利益とも過去最高を更新
- ・スポーツ事業において、事業譲渡及び固定資産の譲渡契約を締結(2017/3)

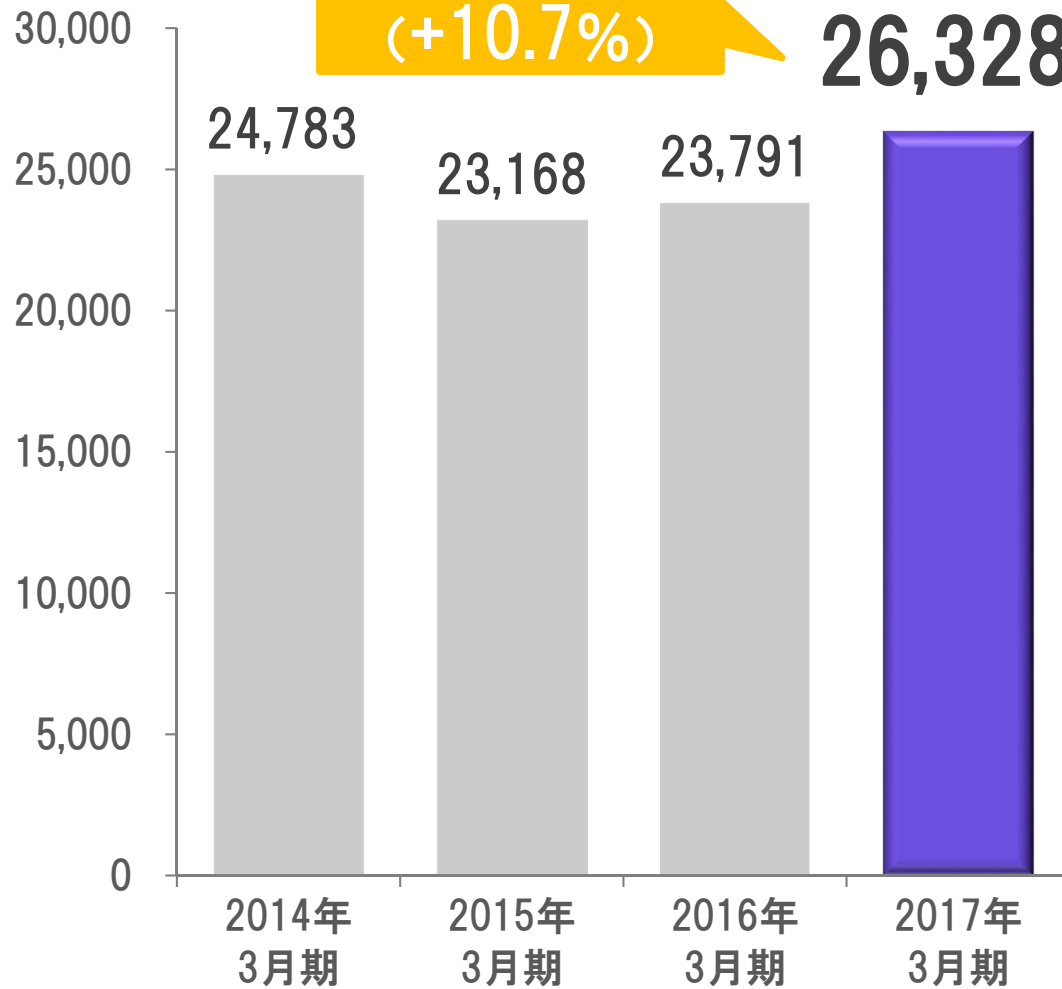
# 連結売上高 / 営業利益推移

## 売上高推移

(単位:百万円)

前期比+25.3億  
(+10.7%)

26,328

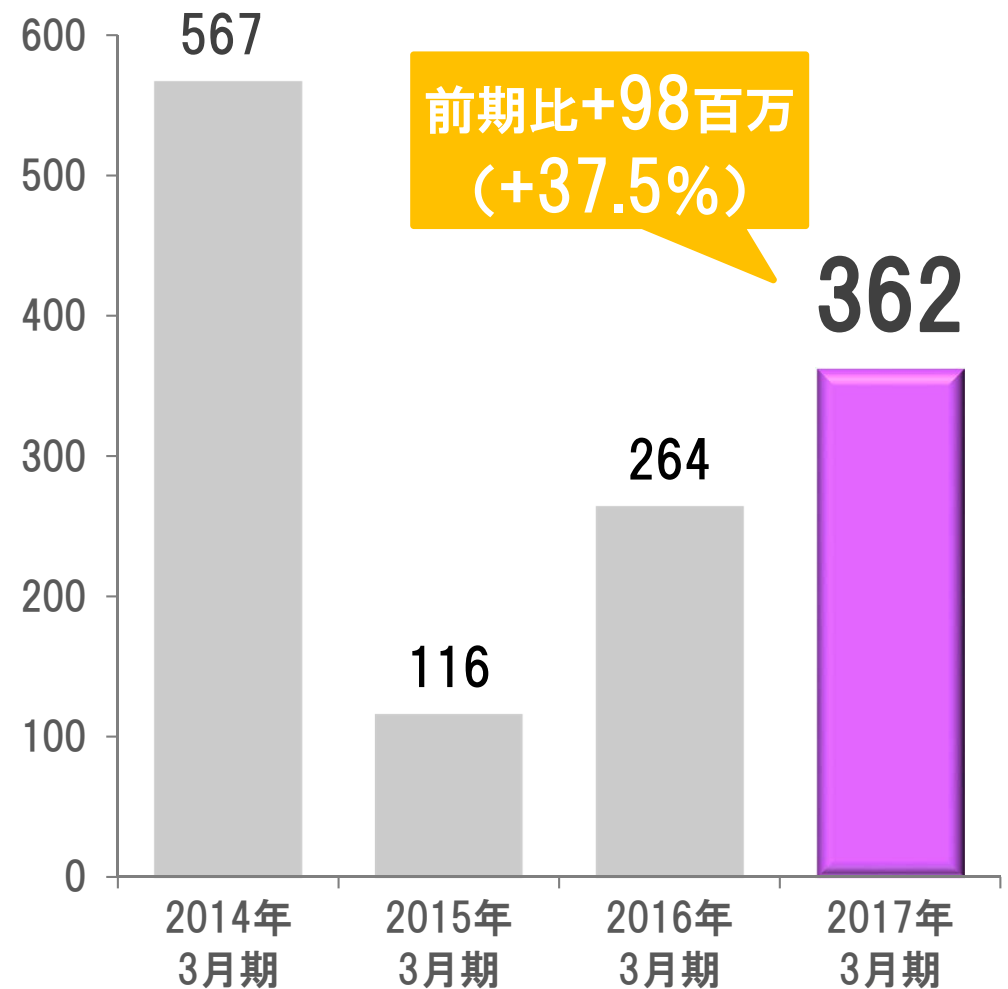


## 営業利益推移

(単位:百万円)

前期比+98百万  
(+37.5%)

362



# 2017年3月期 連結損益計算書

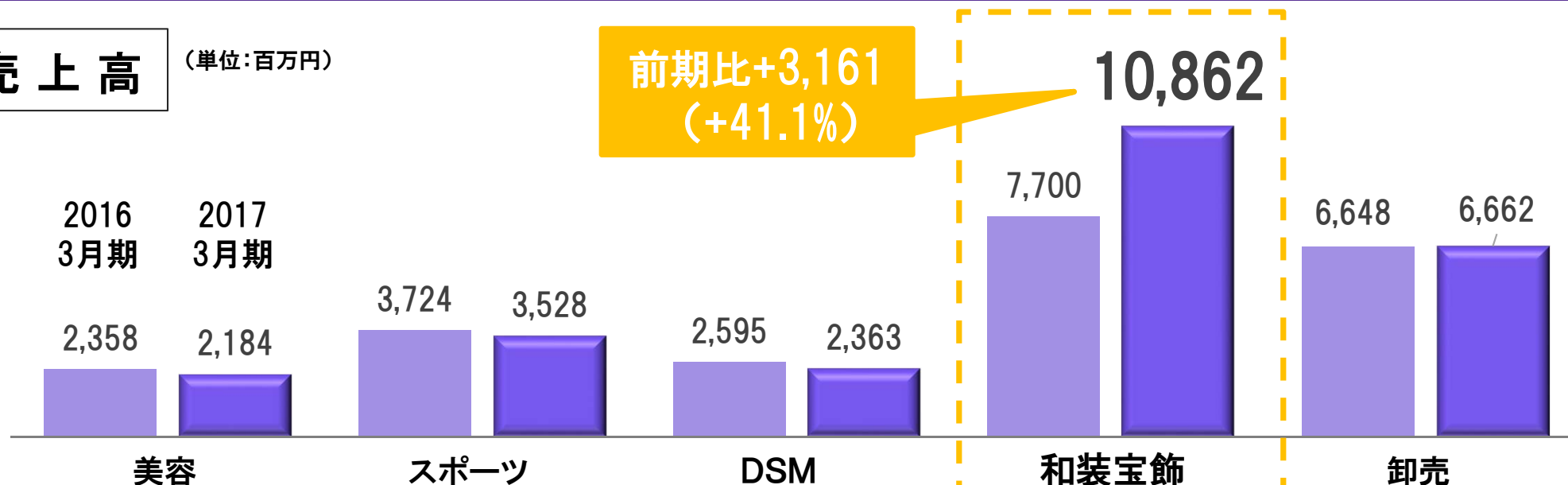
(単位:百万円)	2016年3月期 実績	2017年3月期		概 要
		実 績	前年同期比	
売上高	23,791	26,328	+2,536	前期に和装宝飾・卸売事業でM&Aを実施した2社が期初から好調に推移し、2期連続の増収。
売上総利益	9,938	11,631	+1,692	和装宝飾事業の大幅増収に加え、既存の卸売事業においても売上総利益率が改善。
利益率	41.8%	44.2%	2.4pt	
販売管理費	9,674	11,268	+1,593	卸売事業で業務効率が進んだものの、M&Aの実施により、販管費比率は上昇。
対売上高比率	40.7%	42.8%	2.1pt	
営業利益	264	363	+98	前期に和装宝飾・卸売事業でM&Aを実施した2社による増収効果に加え、既存の和装店舗及び卸売事業の業績も堅調に推移。営業利益、経常利益とも前年を大幅に上回る増益を達成。
利益率	1.1%	1.4%	0.3pt	
経常利益	247	349	+101	経常利益の大幅な増加により、純利益も増加。
利益率	1.0%	1.3%	0.3pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	188	+127	経常利益の大幅な増加により、純利益も増加。
利益率	0.3%	0.7%	0.5pt	



# 2017年3月期 報告セグメント情報①

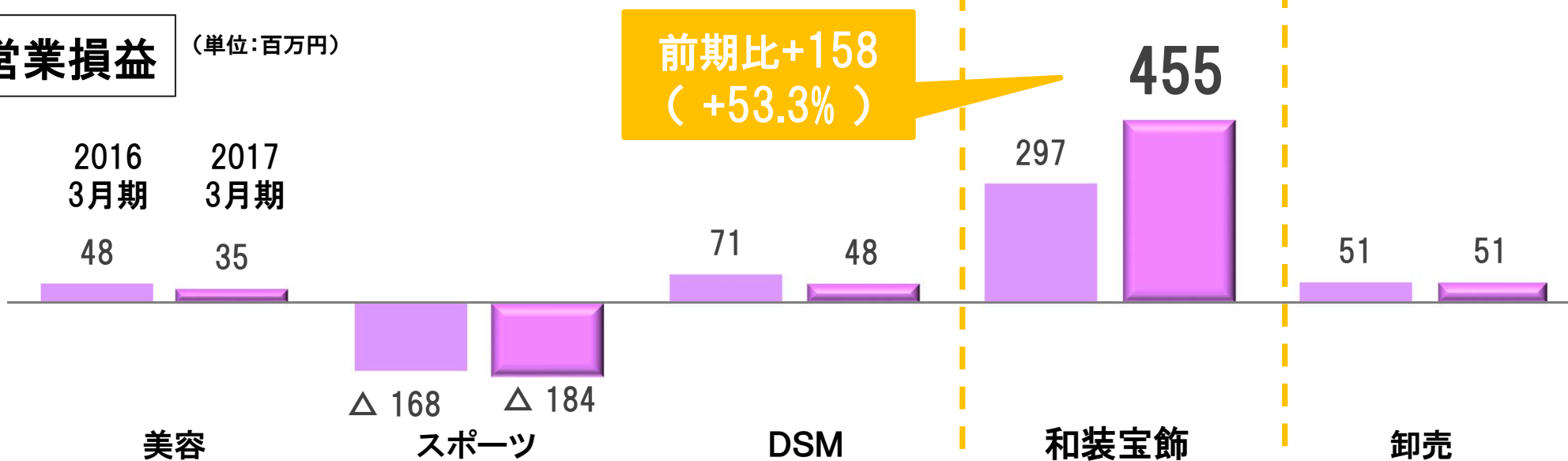
## 売上高

(単位:百万円)

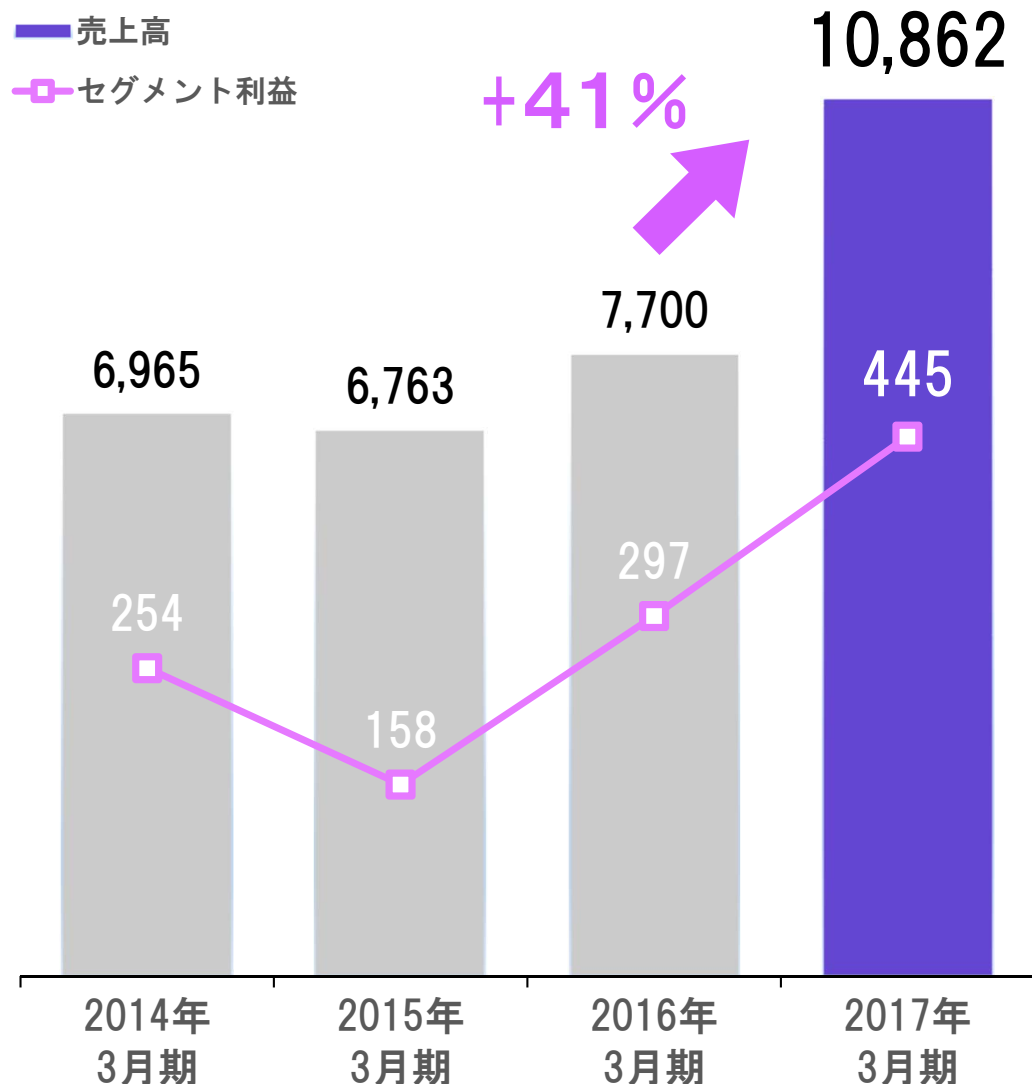


## 営業損益

(単位:百万円)



## 和装宝飾事業の業績推移



前期から再開したM&A戦略の効果により、売上高・利益とも過去最高を更新。

売上高 10,862百万円  
(前期比+3,161百万円)

営業利益 445百万円  
(前期比+158百万円)

M&Aの実施で、店舗数は**109店舗**に拡大し、収益拡大に大きく貢献。  
(関東・東北エリア 33店舗増加)

# 2017年3月期 報告セグメント情報③

(単位:百万円)		2016/3月期	2017/3月期	増減額	概要
美容	売上高	2,358	2,184	△174	DM等の販促活動の強化、サービス向上施策の実施により、来店客数、客単価は改善傾向にあるものの、不採算店舗13店舗の閉鎖の影響等で、減収減益。
	セグ利益	48	35	△13	
スポーツ	売上高	3,724	3,528	△195	主力の冬商戦が雪不足で不調、減収減益。消費者ニーズの多様化、競争激化の厳しい事業環境の中、平成29年3月15日付けで事業譲渡を決定(注1)。
	セグ利益	△168	△184	△16	
D S M	売上高	2,595	2,363	△231	休眠顧客の掘り起し活動、販売強化を推進。事業所の統廃合により販売拠点は6店舗減、販売員減少の影響もあり、売上高、利益とも減少。
	セグ利益	71	48	△22	
和装宝飾	売上高	7,700	10,862	+3,161	前期に子会社化した(株)すずのきが期初から好調に推移し、また、既存の和装店舗も積極的なソフト戦略が奏功し、前年同期比で大幅な増収増益を達成。
	セグ利益	297	455	+158	
卸 売	売上高	6,648	6,662	+14	前期に事業譲受した(株)吉利が寄与し、また、当期はイエリデザイン社より事業譲受したことにより、増収。利益は新規子会社での販管費増加があり、横ばい。
	セグ利益	51	51	0	
その他調整額	売上高	764	726	△38	堀田上海有限公司の意匠擦糸の販売が好調に推移したものの為替の影響により、減収。利益はのれん償却の発生分も吸収し、改善。
	セグ利益	△36	△44	+7	

注1 平成29年3月15日「事業譲渡及び固定資産の譲渡に関するお知らせ」リリース済み



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)	2016/3末		2017/3末	
	金額	構成比	金額	構成比
<b>流動資産</b>	8,850	69.7%	8,221	70.7%
現預金	1,917		1,531	
受取手形・売掛金 ※1	2,870		2,821	
たな卸資産	3,737		3,532	
その他	368		378	
貸倒引当金	△43		△42	
<b>固定資産</b>	3,856	30.3%	3,405	29.3%
<b>有形固定資産</b> (減価償却累計額)	1,398 (△1,796)	11.0%	1,376 (△1,739)	11.8%
建物及び構築物(純額)	566		556	
工具器具備品(純額)	46		48	
その他(純額)	41		28	
土地	743		743	
<b>無形固定資産</b>	353	2.8%	267	2.3%
<b>投資その他</b>	2,104	16.6%	1,760	15.1%
敷金・保証金	1,591		1,317	
その他	604		513	
貸倒引当金	△90		△70	
<b>資産合計</b>	<b>12,707</b>	<b>100%</b>	<b>11,627</b>	<b>100%</b>

※1: 電子記録債権を含む

(単位:百万円)	2016/3末		2017/3末	
	金額	構成比	金額	構成比
<b>負債合計</b>	10,304	81.1%	9,118	78.4%
<b>流動負債</b>	7,537	59.3%	6,992	60.1%
支払手形・買掛金 ※2	3,292		3,039	
短期借入金 ※3	1,025		707	
前受金	1,829		1,831	
その他	1,390		1,413	
<b>固定負債</b>	2,766	21.8%	2,126	18.3%
長期借入金	2,011		1,447	
資産除去債務	327		319	
その他	427		359	
<b>純資産</b>	2,402	18.9%	2,508	21.6%
<b>株主資本</b>	1,046	8.2%	1,158	10.0%
資本金	100		100	
利益剰余金	999		1,111	
自己株式	△53		△53	
<b>その他包括利益累計</b>	23	0.2%	15	0.1%
<b>非支配株主持分</b>	1,333	10.5%	1,334	11.5%
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,707</b>	<b>100%</b>	<b>11,627</b>	<b>100%</b>

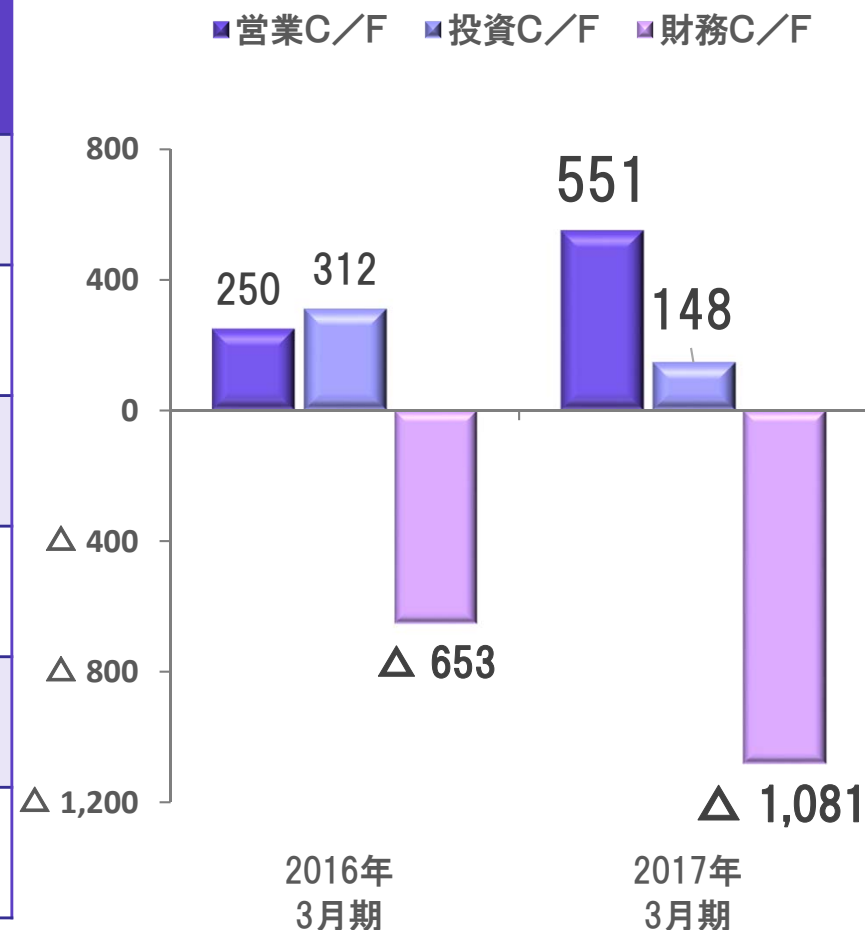
※2: 電子記録債務を含む

※3: 1年内返済予定長期借入金を含む

# 連結キャッシュ・フロー計算書

- ◆フリー・キャッシュ・フローは700百万円(前年同期比+136百万円)
- ◆営業C/FはM&A効果により税前利益が大幅に増加
- ◆財務C/Fは借入金返済および社債償還により減少

単位:百万円	2016年3月期	2017年3月期	前年 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	250	551	+301
投資活動による キャッシュ・フロー	312	148	△164
財務活動による キャッシュ・フロー	△653	△1,081	△427
現金及び現金 同等物の増減額	△92	△385	△293
現金及び現金 同等物の期首残高	1,520	1,427	△92
現金及び現金 同等物の期末残高	1,427	1,042	△385



---

# 振り返りと今後の方針



# 当社の基本方針

## M & A戦略の推進

新たなる成長に向けたM & A戦略

### 事業領域 拡大

#### 既存事業の伸長

経営資源の投入による  
事業収益拡大と  
キャッシュ・フロー創出

#### 選 択 と 集 中

成長モデルが確立できる  
事業・店舗へ経営資源を  
重点配分

#### 循 環

M & A推進による  
**事業規模拡大**



選択と集中による  
**重点投資**



事業の伸長による  
**キャッシュ増加**



増加キャッシュによる  
**再投資(M & A)**



### ◆M & A戦略の再開で、連結業績の拡大に成功。

⇒M & Aした3社(吉利、すずのき、イエリデザインプロダクツ)すべてが収益に貢献。

#### M & Aの実行による2017年度3月期の業績寄与分

売上高 +56億万円      営業利益 +300百万円

専任担当者による案件の発掘・精査・早期クロージング化  
当社が持つ店舗運営の効率化、再生ノウハウの注入

単なる事業規模の拡大ではなく、収益性を最優先にした  
戦略を推進し、確実に増収増益ができるM & A戦略を継続。

## ◆好調な和装宝飾事業で、新規出店及び店舗改装を強化

### <新規出店>



2016/9 OPEN  
ら・たんす モール小倉店



2016/11 OPEN  
ら・たんす 沖縄ライカム店

### <店舗改装>

- 2016/3 ユキベルファム 銀座店
- 2016/4 東京きもの愛 日根野店
- 2016/4 すずのき 柏店
- 2016/5 東京きもの愛 大津店
- 2016/5 Kimono Shopあいこ 古川店
- 2016/12 すずのき 厚木店
- 2017/1 ら・たんす 錦店

新規出店による収益機会の拡大、店舗改装によるソフト価値の場の充実

引き続き、ビジネスモデルが確立している事業に、積極投資を継続し、事業基盤の強化を推進する。

# ◆人財の採用・育成・定着化に向けた施策を強化

⇒メンター制度、クラブ活動支援制度、社長賞制度の導入。

メンタル面、福利厚生面のサポート制度の充実化を図る。



⇒スキルアップ研修制度の拡充による専門性の向上

新たに外部の専門家によるカラーコーディネート研修、財務分析研修も追加し、マネジメント層の育成も踏まえた教育体制を整備。



**採用・育成・定着化ための支援を継続的に強化し、  
事業の成長拡大のための人財の確保に繋げる。**



# ◆競争力の強化に向けたソフト戦略の更なる推進

＜和装宝飾事業＞

⇒和装店舗「きものを着る機会の提案力」強化

従来の店舗毎のお食事や散策等の提案に加え、店舗合同による趣向を凝らした様々なイベントを織り込んだ大型のきもの会を全国各地で開催。

きもの会とは

もっと気軽に、きものを着て楽しんで頂きたいという気持ちを込めて、きものでお出かけする多様なイベントを提案。



大型のきもの会を各地で開催。



モルルールを貸切ったきもの会を開催。

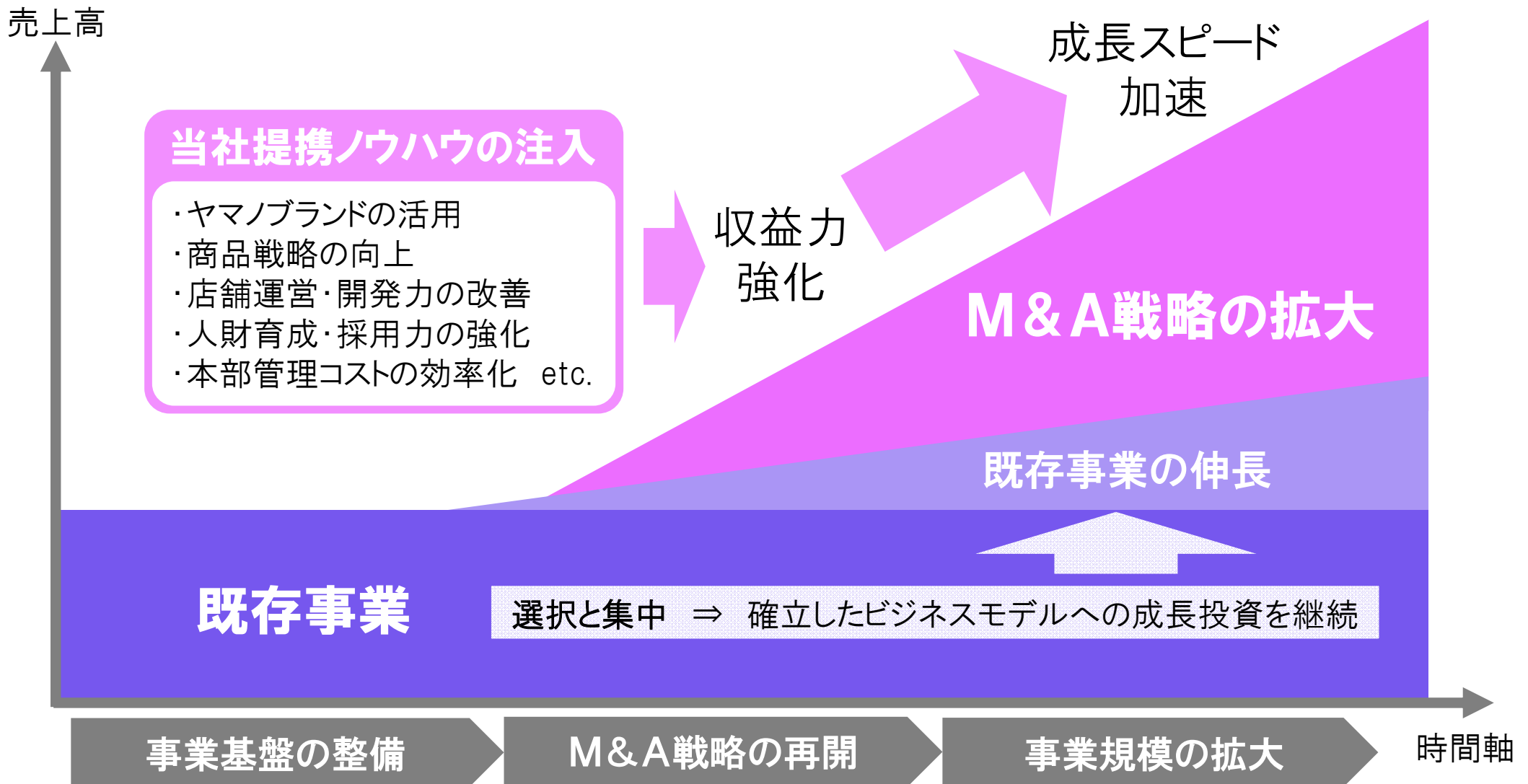


ビジネスモデルの「ソフトと価値の提供」を進化させ、差別化・顧客満足度の向上で収益力アップを図る。



# 当社のM&A成長戦略イメージ

◆既存事業の収益基盤と当社が持つ提携ノウハウを活用したM&Aで新たな収益源を確保し、成長戦略を加速させていく。



---

# 2018年3月期 業績予想



## ◆2018年3月期 通期 業績予想(連結)

2018年3月期 通期業績予想につきましては、予定されている事業譲渡等の事業再編が未完であり、現時点においては、一定の前提を置いて業績予想を想定することが困難なため、未定とさせていただきます。



## ソフトと価値の提供により、顧客創造と収益力拡大を 図ってまいります。

本資料は、2017年3月期の業績概要および2018年3月期業績予想、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2017年3月31日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

